

紙芝居で交通安全学んで

命を守る「とまとの約束」覚えてね。岡山市は市の交通安全キャラクター「まもも」を主人公にした園児向けの紙芝居を制作した。まももを考案した大学生が作画を担当。子どもが親しみやすいかわいらしい絵柄とストーリーで、交通ルールの大切さを分かりやすく伝えている。市内約200の幼稚園や保育園に配布する。15日まで春の交通安全県民運動。(中村真理亜)

岡山 園児向けに市が制作「まもも」主人公

まももは岡山特産の桃をイメージしたピンク色のレッサーパンダ。目は青信号、スカートは横断旗、しましまの尻尾は横断歩道をイメージしている。紙芝居のタイトルは「まももとまもろう こつうあんせん びーちゃんあぶないよのまき」で、B3判、9ページ。まももとひよこの縫いぐるみ「びーちゃん」が夢の中で遊ぶ内容となっている。

作中では道路に急に飛び出したり、信号無視の車にひかれそうになったりするびーちゃんに、まももが「止まって」「待って」「飛び出さない」の頭文字を取った「とまとの約束」を優しく教える。横断歩道は左右をしっかり確認して手を挙げて渡ることの大切さも伝えている。

「悲惨な事故をなくすため、小さい子どもに響く紙芝居を作りたい」と市

かわいい絵と命を守る約束説明ストーリー

が企画。まももの生みの親であり、交通安全対策に貢献したいと考えていた県立大3年小紫萌菜さん(20)に協力を依頼した。

今月上旬に蓮昌寺保育園(北区田町)で初披露。市交通指導員が年長組の約20人に読み聞かせ、園児たちは「怖いね」と言いながら聞き入った。森石麗ちゃん(5)は「車は危ないと思った。外では気を付けて歩きたい」、同席した小紫さんは「まももとびーちゃんのお話を通し、交通ルールを楽しくみながら学んでもらえれば」と話した。



園児らに紙芝居を読み聞かせる岡山市交通指導員(右の2人) → 蓮昌寺保育園



「とまとの約束」など交通ルールを伝えるまももの紙芝居